

# 日本近世史料学研究



[日本近世史料学研究\\_下载链接1](#)

著者:高木俊輔

出版者:北海道大学図書刊行会

出版时间:2000-3

装帧:精装

isbn:9784832960817

近世史料学研究の新しい動向を先導する力作．文献史料学を，日本近世を対象として

深く掘り下げ，緻密な実証研究に基づく新たな方法論を追求する．国立史料館スタッフを中心とする共同研究の成果．

作者介绍:

高木 俊輔（タカギ シュンスケ）

国文学研究資料館史料館長・教授

渡辺 浩一（ワタナベ コウイチ）

国文学研究資料館史料館助教授

目录: 序 日本近世史料学研究の現状と課題

第 1 部 史料のライフサイクル論

第 1 章

江戸幕府勘定所と代官所の史料空間——勘定所系「伺書」のライフサイクルをめぐって

第 2 章

幕府官僚制機構における伺と指令の文書類型——江戸町奉行所『撰要類集』の分析を中心として

第 3 章 幕府寺社奉行所における建築認可システムの史料学的検討

第 4 章 松江藩郡奉行所「民事訴訟文書」の史料学的研究

第 2 部 史料保管史

第 1 章 幕府寺社奉行と文書管理

第 2 章 近世都市高山における「町方」文書の保管構造

特論 高山町年寄文書の保管容器について

第 3 章 商品流通機構の情報蓄積——肴万問屋と問屋場をめぐって

第 4 章 明治初年竹沢寛三郎支配期の文書引継・保管問題（高木俊輔）

第 5 章

近代的史料管理秩序の形成——「高山町会所・戸長役場文書」の引継目録から見た

第 6 章「町村制」における文書管理の性格——近現代史料論としての考察

第 3 部 近世史料学の新しい領域

第 1 章

近世前期の広域村落支配と史料の作成・授受・管理——北遠幕領を事例として

第 2 章 文書作成請負業者と村社会——近世飛騨地域における筆工を事例として

第 3 章 近世後期の年貢徴収をめぐる勘定所—代官関係の史料学的考察——天保改革期の飛騨幕領を中心に

第 4 章 甲斐国の神社組織と番帳——文書の売買・改竄・管理

第 5 章 大名家文書の中の「村方文書」

結 史料空間への旅立ち

・ ・ ・ ・ ・ [\(收起\)](#)

[日本近世史料学研究 下载链接1](#)

标签

史料学

评论

-----  
[日本近世史料学研究\\_下载链接1](#)

书评

-----  
[日本近世史料学研究\\_下载链接1](#)